

## 先入観と意外性

人によっていろいろな見方・捉え方がありますので、必ずこうであるといった決めつけた言い方は、得てしてできにくいように思います。生徒の皆さんは、自分で思い込んでいたことが、実は思いもよらないことだったり事実と異なったりした経験はないでしょうか。

適した例といえるかわかりませんが、私がこれまでに見聞きしたり調べたりしたものの中から2つ取り上げてみたいと思います。

### 【例1】日本の国土（山の高さ）

- ① 47都道府県で1000メートル以上の山が存在しないのは？
- ② 唯一500メートル以上の山が存在しないのは？

国土交通省国土地理院の標高データ（都道府県の最高地点）によると、

- ① 京都府（971m）、沖縄県（526m）、千葉県（408m）の1府2県。
- ② 千葉県（408m/愛宕山）。

②のことについては、随分昔に見たクイズ番組で確か取り上げられていたと記憶しています。千葉県に住んでいる方（それこそ、決めつけてはいけませんが）は、このことをそれとなく予想できるかもしれません。しかし、概して①②のことを意外に思う人は多いのではないのでしょうか。また、①②のことを裏返して言えば、日本の国土は山地が多いことを改めて実感することができます。

### 【例2】江戸時代の徳川将軍15人（在職期間・寿命）

- ① 将軍の在職期間は？
- ② 将軍の寿命は？

歴史の辞典等で調べてみました。

- ① 在職期間の最長は11代将軍家齊の約50年。  
最短は15代慶喜の約1年、次いで初代家康の約2年。
- ② 最も寿命が長かったのは15代慶喜の約77歳、次いで初代家康の約75歳。  
最も寿命が短かったのが7代家継の約8歳。

歴史的経緯や背景等はさておき、最初と最後の将軍が短期政権だったことを意外に思うかもしれません。

在職期間（短期政権）と寿命（長寿）の裏腹な巡り合わせにも意外性を感じることができるかもしれません。

人それぞれの見方・捉え方により、いろいろな例が考えられることと思います。肝心なことは、あまり先入観にとらわれすぎると、本質を見誤ったり意外性に気づけなかったりすることがあるということです。